

くろちく八竹庵(旧川崎家住宅)

1999年:京都市指定有形文化財に指定。京都府医学史研究会跡にも指定されている。

大正時代び 最先端技工と流行を取り入れた、歴史的に貴重な 和洋折衷の 町家建築。

大正当时流行「フランクロイドライト様式」を洋間に採用した、京都伝統的な「大塀造（だいべいづくり：道に面して塀を立たせ、奥に建物が建つ）」。

江戸後期に医院として建築、大正 15年、「四代目 井上利助」が贅限りを尽くし新築し現在形に。

後に、白生地を扱う呉服商 川崎氏住宅兼迎賓館となり、現在株式会社くろちくが管理。

庭に面した「波打ちガラス」、建築当初から現存。**現在製作できる技術者がいないため扱いに注意！**

通常時入館料:¥1700。KG開催中、無料開館のため、建築好きな一般方のご来場される可能性が高い。

八竹庵目当て方に八竹庵パンフレットをお渡しする。

参照:「くろちく」<https://www.kurochiku.co.jp/hachikuan/>

「KEnoHARE」<https://www.kenohare.com/hachikuan>

普段の営業概要

開館時間:10:00 ~ 17:00(受付終了 16:30)

休館日:木曜日(貸切や臨時休館の場合が御座いますのでインスタグラムをご確認くださいませ)

入館料:一般¥1700 中高生 ¥500 小学生 ¥200

団体(10名以上)

一般 ¥1600 中高生 ¥400 小学生 ¥100

※一般のお客様ご入館につきましては「文化財保護継承協力金」¥1,000 を含んでおります。

みなさまのご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。